

糸魚川市駅北まちづくり会議 第6回実践会議 記録

日時	令和2年9月1日(水) 18:30~20:30	会場	駅北広場キターレ
進行	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 駅北まちづくり戦略(案)について (2) 目指すまちの姿について 4 連絡事項等 5 閉 会		
出席者	日本料理鶴来家 専務取締役 青木 資甫子 株式会社アオ 代表取締役 五十嵐 昌樹 花重 磯貝 正子 株式会社カネタ建設 代表取締役 猪又 直登 フリーランス(翻訳) エマ パーカー EKIKITA WORKS 幹事長 木島 嵩善 BASE968 取締役 小出 薫 加賀の井酒造株式会社 第18代蔵元 小林 大祐 おもちや木のこ 代表 齊藤 里沙 まちづくりらぼ 副代表 野村 祐太 リノベーションスクール@いといがわ 企画者 藤岡 あかね EKIKITA WORKS 代表 本間 寛道 リノベーションスクール@糸魚川 企画者 松木 美沙子 外部アドバイザー 西村 浩(座長)		
会議概要			
1 開 会 2 あいさつ(座長) 今日、前回のご意見を反映して、戦略(案)を事務局から説明いただき、次回は、委員の皆さんから発表していただく形にしたいと考えている。 ようやく戦略の概ねの完成図がみえてきた、楽しい未来がこれから待っていると思ってもらって、戦略をバイブルに行動してもらいたい。			
3 議 題 (1) 駅北まちづくり戦略について (委員) 35ページ 新しい持続的な活動について、行政の参画姿が見えづらい。別のページでは、協議体を作って参画していくと理解できるが、このページでもわかるように。 (座長) よく行政からも、自分達は何をやるのかという声が出てくる。市民が豊かに暮らすことは根本論。行政は民間の経済活動がまわり、税金を払ってもらうというサイクルをどう作るかという点に知恵を絞らないといけない。民間の事業者や市民が当事者となって行っていく経済活動をより活発にしていくためにネックになっていることを解決するための仕			

組み（公共空間の利活用に係る規制緩和等）、行政にしかできないことを行政が考えるという役割だと思う。民間がきちんと稼いで自立していくことが、持続可能な暮らしにつながる。

（事務局）32ページに公民との役割を記載しているので、この辺りをふまえて35ページに追記したい。

（委員）20人で実践会議を進めてきた。計画して動けるものを作ったことは立派と思う。まちづくりは実際に動く人や参加する人が主役で、そうした主体となる人の意見を聴くほうが良い。

（座長）次年度以降の会議の具体的内容は決定していない。実際に活動していく人（活動した人）たちの状況や成果、課題などを聞き、情報交換したり、より良くなるためのアイデアを出し合ったりする場をつくることなどをP38に追記したい。実践しながら軌道修正していこうという体制があることが良い。

（委員）38ページについて、インキュベーションとか、もう少し具体的に追加した方が良い。プレーヤーは水面下にいっぱいいる。

（座長）プレーヤーはどこに相談にいけば良いかわからない。会議自体を窓口にするかは別の検討が必要だが、キターレのような場所に来れば「どこの誰に相談したらいいよ」や「どこで、どんな人たちが、どんな活動をしているよ」というようなことがわかるというような場所を複数作ることが大切。その人に相談すると前に物事が進むということになるといいし、これがスタートになって行動したいという人が増えてくる。お手本となるような活動が見えてくると良くなるので、その流れをどのように作ればよいのか考えたほうがいい。

（委員）駅北のことを話しているが、市内全体でも連携していければ良いのではないか。

（座長）3ページの連携のところをもう少しわかりやすく。駅北地区の役割と周辺地区の役割として、各々でできることや可能性があるものを組み合わせていくという発想をもつということが大切と思う。

（委員）冊子の概要版を作ると思うが、入れる項目と入れない項目をわかるようにして教えてほしい。

（座長）駅北だけじゃないという点や推進体は入れたほうが良い。概要版を作ってから確認させてほしい。

（委員）公民連携のまちづくり、市役所に行ったときにどこに赴けばよいか。

（事務局）必ずここに行けば良いというところはない。各課において、ワンストップで相談を受けるよう心がけている。

（座長）行政、民間関係なく、このことならこの人に相談した方が良いとなりたい。

（委員）潜在的な種を見いだせる環境があると、粒がそろってくると思った。34ページの資源を生かしコンテンツを作るは、見出してから始まると思った。

（座長）いろいろな人がキターレに来ると思うけど、ここに新しい人材やコンテンツが見えてきている状況があるということ。他にもあるのかどうかを探して、そのような場所を目指した方がよい。情報のプラットフォームができると良いし、例えば、ホームページを各々で作るより、1つで全部を発信する等のやり方のサポートを行政が行うこともできると思

う。

(委員) 良い情報を目利きして、つなぎ、整理できることが大切。例えば、「いえかつ糸魚川」は行政と民間と連携して活動しているが、「物件を探す」+「事業をやろう」となると、機能として面白いと思う。産業創造プラットフォームを作り、気軽にキャッチボールできる場ができた。

(座長) 情報を知らなかったということは多い。発表する場を作るだけでも共有・協働できるし、そのような舞台を作ることは大切。佐賀県で「勝手にプレゼン」という事業があって、勝手にプレゼンしたいやつが集まってくるという会。ただの陳情や要望でない、自分達でリスクをとって、行政との関係を築いている。

(2) 目指すまちの姿について

(座長) 前回、宿題をだして、ホワイトボードに張り付けたものを整理してきたものですが、ご意見ありましたら。

(委員) もう少し、短くても良い。「つながる育む豊かな暮らし」で「目指せ」はいらないのではないか。そのまま「まちなか大家族」でいい。

(座長) 目指さなくていいかなと思う。今が家族じゃない感じになる。

(委員) キーワードくっつけた感。もう少しコンパクトにしても良いかも。

(座長) 美しくまとめすぎかもしれないということですね。家族というフレーズは良いと思う。外国でファミリーって言うだけで、その後のお互いの行動や付き合い方が変わるような気がしている。

(委員) 同じような言葉でグッドネイバー。家族ほどではないけど、つながっている。

(座長) 3年事業のイラストの感じで言葉になるといいかなと思う。大家族が主でもいいかな。この言葉を言えば、同じ方向性がむける言葉がいいと思うので、「つながる・・・」は説明なので、大家族という言葉を出すことで、行動が変わるといい方いいと思った。私が修正するとしたら、「私たちはまちなか大家族 -つながり、育む、豊かな暮らし-」でどうか。

(委員) まちなか大家族で、説明箇所も連想できる。「それいけ、まちなか大家族」とか。

(委員) まちなか大家族のなかに、説明箇所の要素も入っている。

(座長) 「まちなか大家族」をメインにして次回再提案します。

(3) その他

(座長) 4番目のイラストですが、先日、イラストレーターさんに現地入りして糸魚川のまちを巡ってもらいました。次回に確認してもらいます。

(座長) 今後の継続が一番大事。継続するうえで、大切なのは軌道修正すること。人口増加の時代から超人口減少の時代にどうやって実践していいかわからない。新しいチャレンジをして、成功したところは取り入れて、失敗したところは軌道修正。やったことがないことをチャレンジしなければならず、怖いけど、大きなリスクを負わずにチャレンジすることが大事。実践会議で「やろう！」と言っていることは本当に素晴らしいこと。そこにコロナが来て、いままで考えてきたこともやりながら軌道修正の必要があるかも知

れない。さらに近年の災害（水害）の多さから、暮らし方も考えなければならない。3つの未体験ゾーンに入っているので、いろいろなことを軌道修正しながらやっていくことがいい。今の戦略をバージョンアップしていくことが大事。

福岡伸一という動物学者がいて、この方は、『動的平衡』という著書の中で、「生命というのは常に細胞を壊しながら平衡を保っている。なぜならば、環境は絶えず変化し続けていて、細胞も常に変わっていかなければ劣化していきただけである。常に環境に対応して変化しているからこそ命がつながっていく」と話している。まちづくりも社会も持続的なものは、壊しながら軌道修正しないと続かないということだと考えている。静止しているのではなく行動してチャレンジして新しい時代のやり方を取り入れて進めていく。皆さんのこれからの行動も勇気をもってチャレンジしてもらいたい。困ったときは「まちなか大家族」ですから。糸魚川市全体が大きな動きに繋がっていけるよう願っています。

4 連絡事項

- ・戦略修正等の意見書を9月7日までに提出願いたい。
- ・次回は10月15日に開催。会場を市民会館3階ホールとしたい。
- ・4年事業の笑顔写真の撮影に協力願いたい。

5 閉 会